

令和8年度

鷺敷学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○望ましい人間関係のもと、主体的に学び、考えることを大切にし、協働的に学び合いながら、他とかかわる力や表現力などの能力を伸ばしていく指導のあり方を探る。
○特別支援教育の視点を踏まえ、どの生徒にも楽しくわかる授業を創造する。

校長

中口 崇

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身につけている生徒が多い。また、与えられた課題にまじめに取り組むことができる。 ●課題の内容が難しかったり、量が多かったりした場合に学習への意欲がそがれてしまうことがある。	①年間の見通しをもって授業に取り組んでいる。 ②基礎的な知識・技能が定着している。	①グランドデザインシートを活用するなどして授業始めに年間の見通しを伝える。 ②-1 小テストなどを定期的に行う。テストの結果から理解ができていない単元があれば、再度小テストを行うなどの繰り返し学習を行い、定着を図る。 ②-2 教室環境を整える。机や椅子の高さを調整したり、視界に入る情報を減らすことができるよう教室前面の写真の例を示したりして、どの教室でも集中して授業に取り組むことができるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを发表或し、友達の意見をしっかりと聞いたりすることができる。 ●身に付けた知識・技能を、他の学習や生活の場面に関連付けたり活用したりすることに課題がある。	①根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えや意見を的確にまとめ、わかりやすく適切に表現し、相手に伝えることができる。 ②課題に対して最後まで粘り強く取り組み、解決することができる。	①班活動やペア学習などを取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現できるような授業を展開する。また、ICTを活用し、意見を共有することができるようにする。 ②段階的な課題を提示することで、達成感を積み重ね、意欲的に課題に取り組むことができるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを发表或し、友達の意見をしっかりと聞いたりすることができる。 ●身に付けた知識・技能を、他の学習や生活の場面に関連付けたり活用したりすることに課題がある。	①根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えや意見を的確にまとめ、わかりやすく適切に表現し、相手に伝えることができる。 ②課題に対して最後まで粘り強く取り組み、解決することができる。	①班活動やペア学習などを取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現できるような授業を展開する。また、ICTを活用し、意見を共有することができるようにする。 ②段階的な課題を提示することで、達成感を積み重ね、意欲的に課題に取り組むことができるようにする。			